

立命館経済學

第十三卷 第五号

昭和三十九年十二月

内 容

論 説

- 池田経済成長政策の矛盾……………武 藤 守 一 1
- A. スミス J. S. ミルにおける
国家経費に関する理論の展開 I ……………箕 浦 格 良 37
——古典学派における財政思想(Ⅱ)——
- 金融資本の検討(下)……………小 牧 聖 徳 55
- 韓国の工業化過程……………朴 守 鉉 69
——解放後の問題を中心にして——

資 料

- マックス・ウェーバー『東エルベ農業労働者の
状態における発展諸傾向(二)……………大 吉 敷 矢 輝 友 雄 彦 100

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十三巻・第三号

論説

最近の資本蓄積と低賃金構造(上)……戸木田嘉久
現代資本主義と利潤率傾向的
低落の法則……………手島正毅
——独占と技術革新——

資料

董輔昶「ことなる拡大再生産の
途の下での社会主義的再生産の
比例関係について」……………松野昭二
——マルクス再生産表式の具体化についての再論——

書評

建林正喜『外国貿易と産業循環』……………杉本昭七

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第十三巻・第四号

論説

金融資本の検討(上)……………小牧聖徳
地租改正反対一揆について……………後藤靖
最近の資本蓄積と低賃金構造(下)……戸木田嘉久

資料

マックス・ウェーバー『東エルベ
農業労働者の状態における発展諸
傾向』(一)……………大藪友彦
……………吉矢輝彦

書評

浜崎正規著『近代経済学の方法と
理論』……………岡崎不二男
有田正三著『社会統計学研究』……………関弥三郎

発行所 立命館大学人文科学研究所